

「ありがとう」が原動力 聞き取りやすい声で正確に情報を届けたい

JR三原駅前にあるボランティア・市民活動サポートセンターの朗読録音室を拠点に、広報みはらや新聞、小説などを読み上げ、視覚に障害のある人たちに情報を届けている人たちがいます。昭和55年に発足し今年で40周年を迎えた朗読録音グループ「声の友」の皆さんです。

「利用者からの感謝の声に支えられ、ここまで続けてこられた」と会長の吉川修さん。40年の間に録音媒体がカセットテープからCDに変わり、録音の方法も大きく変わりました。「技術を習得するためにみんなで広島市へ通い詰めたことはい



▲広報みはらを録音する会員の浅枝美和子さん(左)、藤堂祥子さん

聞いただけで正確に理解できるように工夫します。正しく伝えることともに気を配っているのは聞き取りやすさです。「アクセントが変わるだけで聞き取りやすさが全く違う」と会員の浅枝美和子さん。アナウンサーなどプロの読み手の声を聞いて勉強したり、日本語のアクセント辞典を引いたりしながら正しい音調を身に付けています。

「ありがとう」の言葉を掛けてもらったりすることが一番の原動力になる」と皆さん。郵送のほかに施設での朗読や、視覚に障害のある人たちとの交流会(写真下)

「思い出」と当時のメンバーは振り返ります。現在活動しているのは30代から90代の55人。月に2回、希望者の自宅へ広報などを吹き込んだCDを郵送しています。内容を正しく伝えるため、事前の打ち合わせは欠かせません。文字だけでなく、写真や表も



▲定期的な交流会で親睦を深めます

など利用者と触れ合う機会も大切にしています。加齢のため字が読みにくくなった人や忙しくて広報情報を得る手段にしてみたらおうとCDの設置場所を増やすことやSNSを使うことなどを検討。今月オープンする中央図書館でも朗読会を行う予定です。利用者に寄り添いながら、これからも声の情報を届けていこうと意気込んでいます。

※活動内容など詳しくは「つながり」でも声の広報を聞くことができます。



▲市HPの2次元コード

※このコーナーでは、まちをもっと元気にしようと頑張っている人や団体を紹介します。

三原市の人口(5月31日現在)	
※外国人住民を含む。 ※()内は前年同月との比較。	
世帯数	43,817世帯 (+131)
人口	92,649人 (-874)
男	44,586人 (-303)
女	48,063人 (-571)
人口移動の詳細については 広島県 人口移動 月報 で 検索	

税などの納期(普通徴収)	
○固定資産税・都市計画税(第2期)	
○国民健康保険税(第1期)	
○介護保険料(第1期)	
○後期高齢者医療保険料(第1期)	
納期限	31日(金)まで
夜間収納・証明書交付業務の窓口(19時まで)	23日を除く毎週木曜日
航空機の騒音測定結果(5月分)(Lden)	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=41.9
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=45.7

三原市の魅力や情報を発信しています

- 市ホームページ
<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/>
- 市フェイスブック
市の魅力やイベント情報、災害情報などを発信しています。
<https://m.facebook.com/city.mihara/>
- 市メール配信システム
災害情報などをメールでお届けします。
<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/19/haisintouroku.html>
- FMみはら 行政情報番組
FMみはらで市からのお知らせなどをお伝えする行政情報番組「教えて三原ー聞いて役立つ三原ガイドー」を放送しています。
日曜日15時10分～、月～金曜日①6時43分～②12時10分～③20時10分～、(各15分間)
※日曜日から1週間、同じ内容が放送されます。
周波数 87.4メガヘルツ
☎広報戦略課(☎0848-67-6007)



あ・と・が・き

JR三原駅前が約40年ぶりに生まれ変わります。今月号で特集したキオラスクエア、来月には隣の西館に児童館、みはら市民大学がオープンします。皆さんは三原駅前にどんな思いがありますか。私の場合は子どもの頃にファストフード店やゲームセンターに友達と一緒にいったこと。商業施設中心の場所から、日常の生活に密着した施設が集まる場所に変わっても、めざす姿は同じ。「人が集まりにぎわいのある場所」。新しい駅前で、私たちの楽しい思い出が作られていくことを期待します(一)